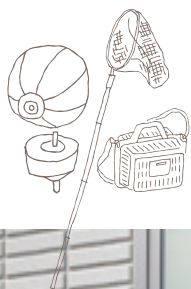




地域を見守るじいじ **甲神 達二さん**
子育てサークルを通じて、子育て&孫育て



地域と育つ



みんなのばあばとして
愛される **堀尾 知子さん**
ファミサポで繋がった子どもたちは孫のような存在



クラストコ

育つ
05

地域を見守るじいじ 中神 達二さん(73歳)

子育てサークルを通じて、子育て&孫育て



Profile

月1回開催する杉山校区ここにごサークルにボランティアとして参加する。また、民生委員として地域住民の相談や援助を行うほか、難病のこども支援ネットワーク、豊橋市肢体不自由児(者)父母の会にも所属。

Question

「ここにごサークル」に参加したきっかけは？

Answer

次男の障がいがかきかけで、
周りとの協力を大切さを痛感したから。

在職時は、銀行員として名古屋市や東京都など転勤を繰り返し、子どもたち(長男・次男)は妻に任せきりでした。ところが、次男が小学2年の時に、はしかウイルスが脳に残る病気になり、障がいを持つ生活になりました(41歳で逝去)。子どものために、難病指定を受けるよう国に要望書を出したり、障がいを持つ子どもの家族会に参加したりするようになり、子育てで夫婦や周りとの協力を大切さを痛感しました。退職後は、地域の民生委員として、生後2か月前後の乳児を持つ家庭に伺う「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を行っているほか、「もっと地域で子育ての輪を広げたい。」との想いから、杉山校区のここにごサークルにもボランティアとして参加しています。



ここにごサークルとは？



0~3歳児と保護者が集い、遊びや育児の情報交換、友達づくりができる場所。地域ごとに市民館などで開催し、ボランティアの先輩ママやスタッフが常駐しています。申込不要、入場無料なので、気軽に行き向かえます。

※会場や開催時期などの最新情報は、こども未来館ホームページをご覧ください

Question

ここにこサークルでの
お母さんたちの反応は？

Answer

お母さんや子どもたちから
“じいじ”と呼ばれています。

銀行員時代、女性が多い職場だったこともあり、お母さん方と話すことに抵抗はありません。子どもと一緒に遊んだり、こちらからお母さんといろんな話をして寄り添うように心掛けています。お母さんや子どもたちから「じいじ」と呼ばれるのもうれしくて、元気がもえます。



Question

地域での子育て、孫育てで
心掛けていることは？

Answer

顔を見たらあいさつをし、
子どもにはいろんな経験をさせます。

現代は「道端でむやみに声を掛けると不審者と間違われるから良くない。」と言われるますが、日頃から顔を見たらあいさつをするようにして、顔の見える関係を築くようにしています。また、孫たちにも「ダメ!」とあまり言わずに、危ないことも経験させて気付かせ、考えさせるようにしています。泥だらけになったり、水遊びをさせたり、自由にさせている点は、今も昔も変わらないところだと思います。



ボランティアスタッフが手作りしたおもちゃ

中神さんは
みんなから慕われていて
子どもたちも
懐いています。



ここにこサークル ボランティアスタッフのみなさん

中神さんの1日

自宅の敷地内に長男家族と一緒に暮らす中神さん。子どものために駆け回るアクティブな中神さんの1日に密着しました。

7:00

小学生の孫を送り出す



9:30

ここにごサークルに参加

自宅からすぐの場所にある杉山地区市民館の「ここにごサークル」に参加。スタッフと一緒に、子育てママをサポートする。



おもちゃは毎回拭いて掃除します

13:00

保育園や小学校に出向き話し合い

民生委員や校区の老人会会長でもある中神さん。校区の保育園や小学校に出向き、子どもたちが楽しめるクリスマス会や昔遊びなど、年間行事について話し合う。



16:00

孫と一緒に遊ぶ

野球やバドミントン、泥遊びなど自然いっぱいの庭で遊ぶ。

カブトムシがいたよ!



和也くん(8歳)
聖也くん(7歳)
陽哉くん(5歳)



入った〜♪

♪ここにこでも大人気!手作りおもちゃ♪

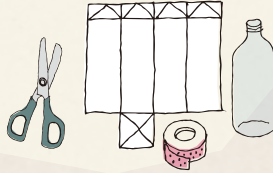
ぽっとんボトル

〈材料〉500mlのペットボトル
牛乳パック2枚
マスキングテープ

1歳頃になると、ものをつかんだり、穴に入れたり手先を器用に使えるようになります。身近なもので簡単にできるおもちゃを作って、子どもと一緒に遊んでみましょう。



〈作り方〉



子どもと一緒に作るのも楽しいです!



1 牛乳パックを細かく切る。



2 切った牛乳パックを折り曲げ、棒状にする。



3 マスキングテープでとめて完成。



4 ペットボトルに落として遊ぶ。

中神さんの世代が
たくさん
学んでいます

今どき育児 孫育て講座



祖父母を対象にした、今どきの育児や、子育て・孫育ての違いなどが学べる講座です。高齢者ならではの本選びや、折り紙を使った指人形の作り方などを紹介。授乳や沐浴、離乳食などについて保健師と保育士から学びます。

問い合わせ

こども未来館「ここにこ」 TEL.0532-21-5525



中神さんにとって、豊橋で
子育てする魅力は？

元気の源

「地域の子どもたちとたくさん触れ合うことで、元気がもらえます。楽しみながら子どもたちと接することが、「校区全体の子育て」に繋がればいいなと思います。」



クラストコ

育つ
06

みんなのばあばとして愛される

堀尾 知子さん(60歳)

ファミサポで繋がった
子どもたちは孫のような存在

堀尾さんの孫
美月ちゃん(5歳)

鈴木 日菜ちゃん(1歳)

Profile

子育てのお手伝いをする「ファミリー・サポート・センター事業(ファミサポ)」の援助会員として、子どもの預かりや送迎を行う。5歳になる孫の世話もしている。

Question

どうしてファミサポの援助会員に？

Answer

子どもが大好きで、ママの心のサポートもしたかったから。もともと保育士をしていたこともあり、平成27年、NPOの子育て支援事業に参加し、家庭訪問をしながら産後ママの声を聞く活動を始めました。「大きくなって子どもを見てほしい。」というママからの要望が多く、ファミサポに入会しました。

Question

ファミサポのやりがいは、どんなところ？

Answer

子どもの成長を見守ることができることです。

子どもを預かることが自分自身の生きる活力になります。成長が感じられた時に、ママと一緒に喜びを分かち合うことができるのが、ファミサポの楽しみの一つです。

近くの公園へ遊びに行ったり、自宅で遊んだり、ファミサポを利用する子どもと孫と一緒に遊ぶことも多いそう。



Question

子育て、孫育てで心掛けていることは？

Answer

子どもの気持ちに寄り添います。

孫と同じように、いけないことは叱るし、良いことは褒めるのが私流の子育て。子育て、孫育てをする中で、コミュニケーションを特に大事にしています。ママとの会話から想いを引き出したり、子どもの気持ちを尊重して付き合ったりして関わっていきたくて考えています。



堀尾さんの1日

- 6:30 起床&朝食
- 8:00 孫の美月ちゃんを幼稚園へ送る
- 9:00 ファミサポを利用する鈴木さん宅へ日菜ちゃんのお迎え
お世話開始

堀尾さんの手作りおやつが大好きな日菜ちゃん



行ってきまあす！



おいしい。

夏場は堀尾さんの庭でプール遊び



- 14:15 鈴木さんのお迎えで日菜ちゃん帰宅

- 15:30 孫のお迎え



おはあちゃんただいま！



ありがとうごさいました！

日菜ちゃんまたね！

ファミサポを利用する

鈴木さんの声

名古屋市出身・豊橋市在住、3児のママ

ファミサポを利用することで、1人の時間ができて心が豊かになります！



知らない方に子どもを預けることに抵抗がありましたが、3人目になると子育てに手が回らず、ファミサポに初めて依頼。そこで、堀尾さんと出会いました。堀尾さんが書いてくれる活動記録には温かいコメントが多く、細かく出来事を書いてくれて、一緒に成長を見守ってくれるので、とても助かっています。

鈴木 桂さん(35歳)、
正欣くん(8歳)、佳苗ちゃん(6歳)

ファミリー・サポート・センター事業

ファミサポとは？

仕事と家庭の両立や子育ての支援をするため、子育ての援助を受けたい方と、援助できる方のネットワークを作り、互いに助け合う会員組織です。子どもの預かり、送迎などをサポートします。

申し込み・問い合わせ

とよはしファミリー・サポート・センター

TEL.0532-56-7500



堀尾さんにとって、豊橋で子育てする魅力は？

集う場のある街

「近所のじいじ・ばあばが、気軽に声を掛けてくれる豊橋は、集う場所が多く、地域みんなで子育てを見守る環境が整っています。」